

学びの広場 2016

今月は、松田中学校の学校支援ボランティアと、町文化財保護についてご紹介いたします。

【問い合わせ】教育課 生涯学習係 ☎(83)7021

学校支援ボランティアへ松田中学校へ

保護者が大きな力 松中のボランティアを紹介します。

学校支援ボランティアとは、平成22年度から開かれた学校づくりの一環として、保護者の力、地域の力を学校の教育活動に取り入れ、より一層充実した学校運営を展開することを目的としたものです。

- ①環境ボランティア
 - ②学習ボランティア
 - ③図書ボランティア
 - ④修繕ボランティア
- 協力者は保護者や地域の方

松田中学校を訪問すると、生け花が目に入ります。昇降口では、素敵な生け花が生徒を迎えています。生け花ボランティアの活動は、長い歴史があるそうです。心と日頃の環境づくりにもボランティアさんのやさしい心が、来校者の目にとまります。



昇降口に飾られる生け花

今年、除草作業に延べ56名、7月の大掃除には25名の参加があり、校舎内がすっきりと気持ちのよい学び舎になりました。また12月の大掃除にも多くの保護者の方にボランティアをお願いする予定です。大掃除の際は、生徒と一緒に校舎内の掃除をします。校舎も心もびかびかに。



雑草をとるボランティアの皆さま



除草作業ですっきりした校舎

②保護者による学習ボランティア
学習ボランティアは、調理実習やミシン作業の補助をします。今年、一年生や二年生の家庭科の授業に来ていただきました。また、英語の音読・英作文の補助・国語書写の補助など協力してください。



調理実習補助の様子

③図書ボランティア
保護者の方が、図書室の整理・新着図書の入力作業を手伝っていただいています。

④修繕ボランティア
校舎内の不具合箇所は、地域にお住まいのボランティアさんに修繕をお願いし、とても助かっています。



大掃除で窓ふきをするボランティアの皆さま (写真は、昨年12月の様子です。)

松田町文化財保護に関するご案内

文化財保護委員会のご紹介

平成28年10月1日、平成30年9月30日の2年間の任期で、教育委員会から委嘱されました。(敬称略左から)

- 前列 平賀康雄 草門隆
加藤繁男
後列 松島明夫 鈴木一行



公文書館による古文書調査

10月27日(木)から町内の方からお預かりした古文書の調査が始まっています。

神奈川県立公文書館の職員の方が来年にかけて長期にわたり来町し、古い文献などの調査をします。皆さまのご家庭で、手をつけていない文献や調べてほしい昔からある文献がありましたら、依頼してはいかがでしょうか。

先代の貴重な事実などが解明されるよい機会です。どうぞ町生涯学習係までご連絡ください。お待ちしております。

文化財保護委員さんは、町の文化財の保護及び活用に関し、教育委員会の諮問に答えます。又は、意見を申し述べる事ができます。そしてこのため必要な調査研究を行います。よろしくお願ひします。

当町内の「青山街道」の命名について(その三)

今回は、当時を偲んで架空実況から入ってみたいと思います。江戸南伝馬町の太師・竹嶋岩見は『ところどころで旦那衆、この重い社紋入り立派な神輿を相州の端の松田郷とやりに、どうやって運ぶんでござんすか?』

松田の文化財探訪



《矢倉沢往還12》文化財保護委員 草門隆

当地の若衆は『このお神輿は倭建命を主祭神とし、御鎮座約1500年の由緒ある寒田神社にお納めするものであり、我が郷は小田原北条五代の筆頭家老の地で、このお江戸から立派な東海道の脇街道・青山街道をトントンと西に進めば、わけなく着いてしまつたのさ、わけねーよ。こんな新調したお神輿なんぞ、もう担げるもんじゃーねーから、自然に力は沸いてこらーね』と松田弁

文化財歴史ウオーク11月5日(土)

今年一日日程で寄地区の旧跡をめぐる。講師は福昌院住職・文化財保護委員の平賀康雄氏です。詳細はおしらせ号や自治会回覧をご覧ください。お気軽にご参加ください。

で粋がり、意気に感じた当時の若衆の姿が脳裏に浮かびました。今どこかの家に寛政10年(1798)の「神輿受取りの事」等の古文書が保存されていないでしょうか? 当町に存在する『古文書資料所在目録』約6000点からは見つかりませんでした。寒田神社の藪田宮司様によりまして、御神輿新調に関する若き世話人として、庶子は儀平、利右衛門、直右衛門、惣領は浅右衛門、傳二郎、仁右衛門、久兵衛等の名前が御神輿に記してあるそうです。約220年前の搬送手段の乏しい時代のこと、当時は特に驚きに値することではなかったでしょうが、御創建1500年(昨年は1700年の式年大祭挙行)延喜式内社・寒田神社の祭礼「お祓」(おみそげとも言う)村民の意気込みやパワーに驚きを感じる貴重な話です。この青山街道は既に「神山・町屋コース」で記した通り、店屋場・町屋の字名をみても、今私たちが思うより、はるかに繁栄・賑わっていた様です。※読みがなは、一般的な読み方です ※今回は、「青山街道本道争事件の概要」を記させて頂きます